

日本産カゲロウの卵について (1)

岡 崎 博 文

On the eggs of Japanese mayflies (1)

Hirobumi OKAZAKI

Summary

I observed and drew the eggs of some mayfly species.

カゲロウ類の産卵様式ならびに、卵形態については、Smith(1935)によってかなり詳細な研究がなされている。

カゲロウ類の産卵様式は、次の三つに分けることができる。

- 1) 水辺を飛びまわり、腹部末端部で水面を軽く叩きながら、卵を少量ずつ何回も産卵するもの。
- 2) 卵塊として、水中に一度に産み落とすもの。
- 3) 雌自身が水中にもぐり、流水中の石面に卵を産み付けるものなどがある。

卵の形態は様々で(図1), polar capを持つもの(図1: 1, 2, 3, 4), 粘着性の糸(図1: 1, 2, 3, 10), 隆起物, 突起物(図1: 5, 7, 10)を持つもの, 表面が平滑なもの(図1: 6, 8, 9, 11), 点紋・網目彫刻紋のあるもの, ゼラチン状物質に覆われているものなどがある。

卵の形は主として、円形か橢円形で、大きさは0.07mm乃至0.3mmぐらいである。

卵数は、少ないもので数百、多いものでは1万数千個にも及ぶ。

次に主なカゲロウの卵の大きさ、卵塊の有無・色彩、卵数を表1に示した。

本研究にあたり、終始丁寧な御指導を賜わった、奈良県立大淀高等学校、御勢久右衛門先生に心から感謝を申し上げる。

文 献

Smith, R., 1935, The eggs and egg-laying habits of North American mayflies. The biology of mayflies, 67-89, New York.

(岡崎博文; 奈良県吉野郡吉野町樅尾173)

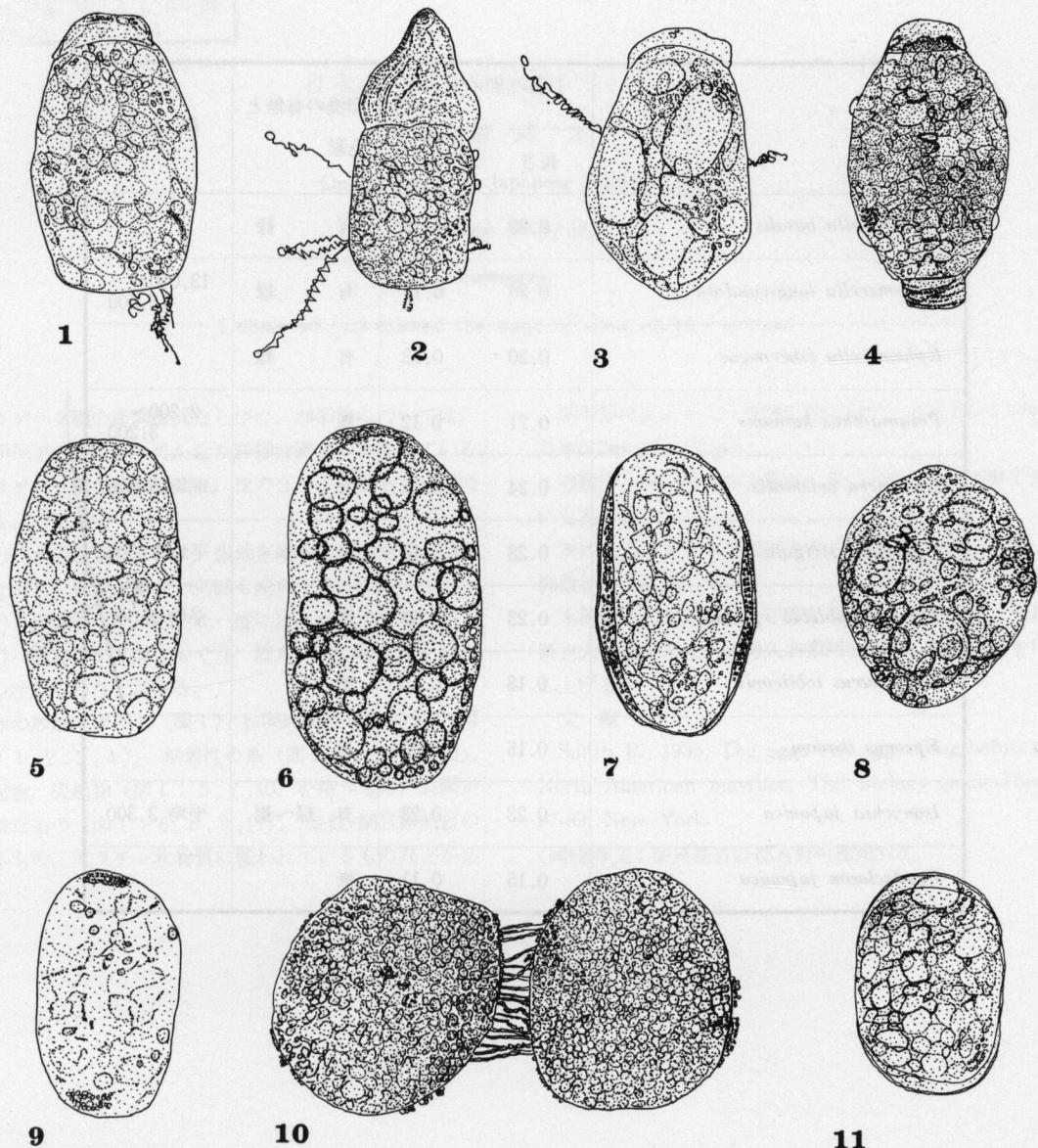


図1. カゲロウ数種の卵

1. *Ephemerella basalis*,
2. *Ephemerella longicaudata*,
3. *Ephemerella tshernovae*,
4. *Potamanthus kamonis*,
5. *Ephemera orientalis*,
6. *Ephemera strigata*,
7. *Paraleptophlebia spinosa*,
8. *Ecdyonurus tobiuronis*,
9. *Epeorus ikanonis*,
10. *Isonychia japonica*,
11. *Pseudocloeon japonica*.

表1

種 名	1個の卵の大きさ (mm)		卵塊の有無と 色彩	卵 数
	長さ	巾		
<i>Ephemerella basalis</i>	0.25	0.15	有 緑	
<i>Ephemerella longicaudata</i>	0.25	0.13	有 緑	13,000～ 18,000
<i>Ephemerella tshernovae</i>	0.20	0.13	有 緑	
<i>Potamanthus kamonis</i>	0.21	0.12	無	2,200～ 3,200
<i>Ephemera orientalis</i>	0.24	0.15	無	平均 5,800
<i>Ephemera strigata</i>	0.28	0.18	無	平均 7,500
<i>Paraleptophlebia spinosa</i>	0.23	0.13	無	平均 2,000
<i>Ecdyonurus tobiiromis</i>	0.18	0.15	無	
<i>Epeorus ikanonis</i>	0.15	0.10	無	
<i>Isonychia japonica</i>	0.28	0.23	有 緑～褐	平均 3,300
<i>Peudocloeon japonica</i>	0.15	0.11	無	